ロッキーのHP→www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html

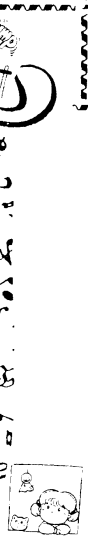
PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版
第101号
2006 6.9 発刊

Yeah!マネージャー No.60
俺達の時代は…の巻　作 チフ井上

ロッキーHP → 拝啓 www.liverocky.com

June

最近、うちの窓の外ののれんにヤモリが出現します。ヤモリは沖縄ではよく見かけるのですが、ここではちょっと珍しいですね。オリジナルで「ヤモリがキュ！」という歌を歌ってるのでヤモリが喜んであいさつに来てるのかもしれない。しかも最近、子供までできて、子ヤモリがよく姿を現します。梅雨になったらどうかな？雨やどりに家に入ってもいいぞ！



マスター田口の不幸デラックスコーナー

電車通勤の悲劇の巻…マスター田口は毎年恒例の免停でここのところずっと電車通勤している。マスターが駅のホームに上がる頃に電車が到着するというパターンが多く、エスカレーターを駆け上がることもしばしばだ。エスカレーターの右側は追い抜き用に空ける、というのが暗黙の了解だが、急いでる時にかぎってそこに**無神経なおばちゃん**が立ってたりするものだ。ある時も全くそのパターンになり、どこかへトレッキングに出かけるようなかっこうをした**リュックスタイルのおばちゃん**が楽しそうにべらべらしゃべりながら立っていた。マスターは**大激怒パワー全開で**思わずおばちゃんのリュックを手で押しのけて強引に追い抜こうとした。その時だ。

そんなこんなの電車ライフもそろそろ終わり、免許も戻ってくるが、点数はギリギリ。あまりに6月から駐車違反取締が始まる。どうなるかマスター？また電車ライフに逆戻りか否か…乞ご期待！

スタンレー丸山小情報

謎のパワーアンクル野郎の巻

ロッキートップの厨房（グリル）チーフ、スタンレー丸山が最近、何故か足にスポーツ用のおもり（パワーアンクル）をつけて日常を過ごしている。動機については多くを語らないがなんとなく、きたえてみたい年頃なのだろう。ああ見えて、彼も来年30才だ。そしてマスター田口は50才→

チフ井上は40才だ→

スタンレーによるとパワーアンクルは効果できめんらしく、2ヶ月以上やった今、それを外すとかなり軽く鳥のような気分らしい。それを聞いて負けじとチフがランニングを始めたという噂だ。

ロッキートップ新人さん紹介！

大北ひとみさん

四国は香川県出身。ロッキー初のホームページ上の募集にこたえてくれた人です。以前は自動車教習所の教官もしていた、という経歴を持つ。現在は浜松町〜浅草の水上バスでの仕事とロッキーもかけもっている。ぽーっとしてるけど、おそろしい姉ちゃんです。好きな食べ物はカレーとあんぱんだ。

Pick Up Live!（自自押しです）

6/13(火) 稲葉和裕&BGバディーズ
with スティールギター 尾崎博志 BC¥2500

今回は趣向を変え、日本ペダルスティール界重鎮、尾崎博志さんの息子さん尾崎博志さんをゲストに迎えてカントリー色も加えたスペシャルナイト！楽しめますよ！

7/1(土) たじま企画「紅一点バンド対決！」 フルーグラスサタデーナイト

ミリオンダラス 越田家 イデリ豚 (ex B-Soul)

女性を中心とする若手バンドが集結します。各バンド紅一点という面白いイベント。中でも今回このために神戸大出身の有名バンドB-Soulのねミズ、Maを土台を中心に作られた**「イデリ豚」**は楽しみだ！ BC¥1800

7/8(土) セタブルーグラスナイト

サニービレッジ (from東北) **ニューウッディーバル**
プロジェクト ニューアップルシード BC¥2000

毎年恒例の七夕企画、お祭り気分でどうぞ！

7/27(木) アイリッシュスペシャルナイト

ミューズ (from京都) BC¥1500

京都高瀬川の橋の上でアイドルの大城とギター陳が出会ったのがきっかけで誕生したアイリッシュバンド。2人はクラッシック、ブルースよりアイリッシュまで遡ぼった経歴を持つ。そしてVo.木村陽子はゴスペル出身、そんな濃い音楽要素がガンガンぶつかり合ったアイリッシュなんて面白そうだ！

ご予約受付中です！ よろしくお願いします。

どこへ行くブルーグラス (29)

…わたくしチフ井上がロッキートップに入り、ブルーグラスと出会ってからの数々の思い出をたどりながら今後ブルーグラスがどこへ行くのかを考察するコーナーです。

コンベンション初優勝の覚悟の巻…コンベンションネタとしてブルーグラスのイントに目をつけるというアイデアで初めて完成させた曲はビルモンローの**Kentucky Mandolin**だった。詞の内容としては、当時日本ブルーグラス界に売り出していた女性バンド**Honey Words**のマンドリン**さっちゃん**を主人公に、彼女の**ブルーグラスへの熱い情熱**をケンタッキーマンドリンに例えて歌にした。2コーラス目の歌詞は自分も負けじと新しいマンドリンを買って頑張るぞ！という展開。オチとしては水道橋**オンザボーダー**のマンドリンを片っ端から弾きまくったあげく、結局**お茶の水ヤマハフェアー**で買った、ということを、わざわざ**ステージもばに オンザボーダーの北原さんを呼んでおいて**ステージ上から謝るという演出！これで初優勝した。優勝というのは本当にうれしいものだが、何と言っても思い出すのは審査結果を待つまでの長い長い**待ち時間**だ。お客さんのゲス評の声が思いっ切り聞こえてくる。「チフ良かったな」「やっぱチフでしょ」おお！そうかな！…でも審査員の判断はまた違うだろうからな…俺、笹部さんに**嫌われてる気がするし**」などの**疑心暗鬼**が首をもたげてきたりする…そしてついに審査結果発表！8位くらいから読み上げていくのだが本当に胸がドキドキするのだ。「8位かもな…あ俺じゃなかった…でも次に呼ばれるかな…」なんて思いながら上位の方に進んでいく。そして上位3位になると会場のボルテージも上がってくる。何しろ3位から楽器がもうえるのだ。3位「ちがう！」2位「ちがう！」（違う…ってことは！？）また**自分の名前が呼ばれてないのに気づくと同時に優勝を疑いするわけだ**。「まず間違いないだろ…でももしもしかの事も」と最後まで最悪パターンを想像したりもするが**ステージに上る階段へしっかりと体は向いている**。「今年の箱根ブルーグラスフェス…コンベンションの優勝者は…**チフ井上ー！**」大きな拍手が巻き起こる！体全部、頭の中全部がパーっと高揚した状態でステージに駆け上がる！そして優勝トロフィーと楽器を受け取り、高々とそれを掲げる。**あーそのうれしさよ…**「チフ！一言お願いします」そんな時大したコメントはできない。芸を出し尽した。全てはこの為だ。そしてトロフィーと賞品のギターなおかつ自分のマンドリンを無理矢理な体勢で持ちながらステージからの急坂を降りていく。でもクルしくて**全く重くなんかない**。周りの人々から口々に「チフおめでとう！」「最高だったよ」などと声をかけられ、でもその中に競演者の**悔しそうな表情**をかいまみたりもするのだ…つづく